

令和3年度 さくら市地域公共交通会議 (栃木県さくら市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



地域の公共交通等の現況

近年、自動車での移動が中心の生活スタイルが定着化し、公共交通の利用者の減少が著しくなっている。特に、路線バスの大半は赤字運行となっており、不採算路線の廃止が相次ぎ、また、路線維持のための補助金や廃止路線の代替交通を運行するための費用等、財政負担も増加傾向にある。

一方、少子高齢化・過疎化が急速に進展する中、高齢者をはじめとする車の運転ができない交通弱者の移動手段を確保することは、ますます重要な課題となっている。

これらの問題を踏まえ、平成21年度にさくら市地域公共交通総合連携計画を策定し、日常生活における交通弱者の移動手段の確保とそれぞれ地域のもつ特性・実情に合ったサービスの提供に向けた計画の策定及び実証実験運行を行っている。

交通計画の基本方針／地域公共交通に関する施策・取組の概要

さくら市の地域公共交通施策では、学生や市民の交通弱者のニーズを把握し、路線バスではカバーできない部分についてはフィーダー系統でカバーをしている状況である。また、市民のニーズだけではなく、事業者の存続についても考慮し、無理なく持続可能な公共交通を行う。

交通施策として実施した事業の全体像の概要

地域のもつ特性・実情に合ったサービス(デマンド・区域運行)を実施・維持することで、交通空白地域が解消され、自家用車を利用できない交通弱者の移動手段が確保される。

各種市営バスから地域のもつ特性・実情に合ったサービスに移行することで、非効率な運行から脱却し、持続可能な公共交通を構築することができる。

補助対象事業の概要

市内の旧町間・市外の近隣市町間を運行する民間の路線バスを地域間幹線系統として位置付け、その路線に接続する地域内フィーダー系統として2つの乗合タクシー事業を実施している。

【デマンド交通コンタ号・つういんコンタ号】

事業者名: さくらタクシー有限公司
 運行区域: 旧喜連川町全域及び黒須病院(旧喜連川町域)
 運行日: 月曜～金曜(土日祝日、年末年始運休)
 運行時間帯: 8時～16時30分
 運行本数: 4～8便(予約方式) ※令和3年3月31日までは4～6便
 運行車両: 3台(ワゴン型1台、セダン型2台)
 運賃: 100～500円、協賛金500円

【デマンド交通うのはな号】

事業者名: 有限会社誠タクシー
 運行区域: 旧氏家町全域
 運行日: 月曜～金曜(土日祝日、年末年始運休)
 運行時間帯: 9時～16時30分
 運行本数: 6便(予約方式)
 運行車両: 1台+予備1台(セダン型)
 運賃: 100～300円、協賛金500円

面積	125.63km ²
人口 (R3.4.1時点)	44,183人
15歳未満	6,071人
65歳以上	11,768人
高齢化率	26.93%
世帯数	17,937世帯

網計画の策定年月日

令和2年3月

協議会開催状況

○協議会の開催状況 2回開催
 【第1回(令和3年6月18日)】
 ・令和2年度デマンド交通事業の実績報告について
 ・令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
 ・小学生向け公共交通利活用促進副読本(令和3年度)におけるバス無料乗車券のデマンド交通への適用について(報告)
 【第2回(令和4年1月18日書面協議)】
 ・令和3年度デマンド交通事業の事業評価について
 ・さくら市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

前回の事業評価結果の反映状況

- 【コンタ号・つういんコンタ号】・広報紙・HP等による広報活動を実施した。
・地域の集会に参加し、周知活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
・コンタ号の増便(6便から8便)を行った。
【うのはな号】
・広報紙・HP等による広報活動を実施した。
・地域の集会に参加し、周知活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

定量的な目標・効果

【目標】

- ◆コンタ号 1人1回乗車当たりの公費負担額:1,000円以下
収支率:17%以上
サービスに対する満足度:75%以上
- ◆つういんコンタ号 1人1回乗車当たりの公費負担額:2,100円以下
収支率:16%以上
サービスに対する満足度:75%以上
- ◆うのはな号 1人1回乗車当たりの公費負担額:1,500円以下
収支率:13%以上
サービスに対する満足度:60%以上

【効果】

デマンド交通を維持することにより、交通空白地帯が解消され、自家用自動車を利用できない交通弱者の移動手段が確保される。

目標の達成状況・事業によって得られた効果

【結果】R2.10.1~R3.9.30

- ◆コンタ号 1人1回乗車あたりの公費負担額:1,188.14円
収支率:14.41%
サービスに対する満足度:50.6%
- ◆つういんコンタ号 1人1回乗車あたりの公費負担額:3,952.03円
収支率:7.62%
サービスに対する満足度:54.8%
- ◆うのはな号 1人1回乗車あたりの公費負担額:1,834.77円
収支率:10.65%
サービスに対する満足度:36.4%

いずれの目標も達成できていないが、つういんコンタ号については公費負担額が大きく減少し、収支率は上昇した。
新型コロナウイルスの影響により利用者が減少したため、公費負担額は微増、収支率は微減。1便にかかる時間が長すぎる、エリア分けをしないで欲しいなどの意見が寄せられ、満足度は年々低下している。

アピールポイント

- ・コンタ号について、平成26年10月よりワゴン型の車両を導入し、効率的な運行に取り組んでいる。また、令和3年4月より増便し、利用者の利便性向上を図った。
- ・平成31年4月より、旧喜連川町域から黒須病院(旧氏家町域)までを繋ぐつういんコンタ号の運行を開始した。
- ・うのはな号について、平成29年10月から運行区域を旧氏家町全域に拡大し、利便性の向上を図っている。
- ・デマンド交通から路線バスへの乗継券発行事業を実施し、公共交通全体の利便性向上に努めた。

今後の改善点

■コンタ号・つういんコンタ号

平成31年4月より、運行範囲を拡大した。制度について、まだ知らない市民が多数見られるため、広報等による利用促進に努める。

■うのはな号

平成29年10月から旧氏家町の全域に運行区域を拡大した。広報等による利用促進に努める。(特に第1便の)乗車率が高まっているため、増便に向け検討する。

■共通

地域公共交通網形成計画を基に、デマンド交通の運行形態等の見直しも検討する。

また、登録しているが利用していない方が増加傾向にあるため、制度周知の強化に取り組む。

